

- 問1 縄文時代に作られた土偶は、どのような目的で使われたと考えられていますか。
- 問2 平安時代を代表する随筆（ずいひつ）である「枕草子」を書いた人物はだれですか。
- 問3 清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆（ずいひつ）は何ですか。
- 問4 古墳の中に、武器や祭りの道具などが一緒に納められたのはなぜだと考えられていますか。
- 問5 武士団の中でも特に強い勢力を持ち、朝廷の命令で地方の反乱をしずめるなどして重く用いられた二つの大きな勢力をまとめて何と呼びますか。
- 問6 奈良時代に、聖武天皇が仏教の力を使って国を守ろうとして、奈良の都に建てた有名なお寺は何でしょう。
- 問7 聖徳太子たちが、中国の進んだ文化や学問、政治のしくみを取り入れるために、小野妹子らを送った使節を何といいますか。
- 問8 7世紀後半から8世紀初めにかけて、日本が「律令」という法律を整えた一番の目的は何ですか。
- 問9 古墳の時代に作られたものの中で、四角と円を組み合わせたような形が特徴的な、代表的な古墳の形を何といいますか。
- 問10 聖徳太子は、どのような豪族と協力して天皇中心の新しい国づくりを進めようとしたか。
- 問11 中大兄皇子とともに大化の改新を始めた中臣鎌足が、のちに名乗るようになった名字（氏）は何ですか。
- 問12 1159年におこった戦いで、勝利した平清盛を中心とする平氏が、藤原氏にかわって政治の実権をにぎるきっかけとなった出来事は何ですか。
- 問13 奈良時代の律令制度において、農民が収穫した稲の約3パーセントを国に納める税のことを何といいますか。
- 問14 かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物はだれですか。
- 問15 奈良時代につくられた、日本で最も古いとされる和歌集の名前は何か。
- 問16 794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都は何ですか。
- 問17 のぼりがまという新しい製法を使ってつくられた、弥生土器よりも薄くてじょうぶな古墳時代の土器は何ですか。
- 問18 関白という役職は、天皇がどのような状態のときに、天皇を助けて政治をおこなうものですか。
- 問19 昔の税制度である「租」が、当時の国にとってどのような役割を果たしていたといえますか。
- 問20 奈良時代に、多くの民衆の協力をあつめて大仏づくりに大きく貢献した僧侶はだれでしょう。
- 問21 平清盛が武士として初めて就任した「太政大臣」とは、どのような役職ですか。
- 問22 女王の卑弥呼がおさめていた邪馬台国は、およそいくつの国を従えていましたか。
- 問23 平安時代を代表する小説である「源氏物語」は、どのような文字を使って書かれましたか。
- 問24 石を打ちかいてつくった石器で、旧石器時代に使われていたものは何ですか。

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 魔よけなど	土偶は、魔よけなどのために使われたと考えられています。
問2	答え 清少納言	「枕草子」は、平安時代に清少納言によって書かれた作品です。
問3	答え 枕草子	清少納言によって書かれた、平安時代を代表する随筆は「枕草子」です。
問4	答え 亡くなった人の権力を示すため	古墳に納められた武器や道具は「副葬品」と呼ばれます。これらは、亡くなった人が生前どれほど力を持っていたかや、どのような役割を担っていたかを示すために、豪華なものが選ばれました。あくまで有力者の権威をあらわすためのものです。
問5	答え 源氏と平氏	武士団の中で特に勢力を伸ばし、朝廷の命令で反乱をしずめるなどして活躍した二大勢力を「源氏と平氏」と呼びます。
問6	答え 東大寺	聖武天皇は、仏教の力を信じ、国を平和にしようと考えました。その中心として奈良に建てられたのが東大寺であり、そこには巨大な大仏が作られました。国分寺（こくぶんじ）が日本各地に建てられたのとあわせて、奈良時代の仏教を象徴する施設です。
問7	答え 遣隋使	中国の「隋」という国に送られた使節なので、遣隋使といいます。小野妹子らが代表として送られました。
問8	答え 天皇を中心とした強い国づくりを進めるため	当時の日本は、唐（中国）などの進んだ国に対抗するため、国のきまり（律令）を全国で統一し、天皇を中心として国全体をまとめる仕組み（中央集権国家）を目指しました。律令は、税金の集め方や役人の働き方などを定めた大切なルールブックでした。
問9	答え 前方後円墳	前方後円墳は、四角い部分と丸い部分が組み合わさった独特な形をした古墳です。この形は当時の日本の有力者の間でひろまり、権力者が自分の強さをアピールする手段として各地で作られました。
問10	答え 蘇我氏	聖徳太子は、当時の有力な豪族であった蘇我氏と協力して、新しい国づくりを進めました。
問11	答え 藤原	中臣鎌足は、のちに「藤原」という名字（氏）を与えられ、藤原鎌足と呼ばれるようになりました。
問12	答え 平治の乱	1159年におこった平治の乱で平清盛が勝利したことにより、平氏が政治の実権をにぎるきっかけとなりました。
問13	答え 租	律令制度のもとで定められた「租」は、農民が収穫した稲の一部を国に納める基本的な税のことです。他の税には、布などを納める「調」や、都での労働を義務づける「庸」などがありましたが、収穫した稲を納めるものは「租」と呼ばれていました。
問14	答え 清少納言	かな文字を使って『枕草子』という随筆を書いた人物は、清少納言です。
問15	答え 万葉集	万葉集は、奈良時代につくられた日本最古（最も古い）の和歌集です。
問16	答え 平安京	794年に、不安定だった政治を立て直すために京都につくられた都を平安京といいます。
問17	答え 須恵器	のぼりがまという新しい製法でつくられた、薄くてじょうぶな土器を須恵器といいます。
問18	答え 天皇が成長したとき	閑白は、天皇が成長したあとに、天皇を補佐して政治の実権をにぎる役職です。
問19	答え 国が使うお米を集めて財政を支える仕組み	「租」は農民が苦労して育てた稲の収穫高から納められるものでした。当時の国は、集められた大量の稲を国家の財政を支える大切な資源として活用し、国としての仕組みを整えていました。
問20	答え 行基	行基は民衆から深く信頼されていた僧侶です。聖武天皇が奈良に大仏をつくろうとしたとき、行基が呼びかけたことで、多くの民衆が労働力として大仏づくりに参加しました。なお、鑑真は日本に正式な戒律を伝えるために中国から来日した人物です。
問21	答え 朝廷の最高位の役職	太政大臣は朝廷における最も高い位の役職で、平清盛は武士の身分からこの地位にのぼりつめました。

問22	答え 30ほどの国	邪馬台国は、女王の卑弥呼が30ほどの国を従えておさめていた国です。
問23	答え かな文字	源氏物語は、当時の日本で使われ始めた「かな文字」を使って書かれているのが特徴です。
問24	答え 打製石器	石を打ちかいてつくった石器を打製石器と呼び、旧石器時代に使われていました。
